

令和元年度「全国キャリア・就職ガイダンス」パネルディスカッション
キャリア教育と企業人材育成の接続について
～キャリア教育におけるデータ活用の可能性と課題～

大学側事例紹介

入学から卒業後まで一貫して見通す 学生IRから見えてきたこと

2019年6月11日

大学院教育強化推進センター 市村光之

文部科学省 大学教育再生加速プログラム

テーマⅡ（学修成果の可視化）：横浜国立大学の事業概要

学生の主体的な学びのデザイン

【YNU学生ポートフォリオ構築】

- 成績評価分析表示システム
- 学生プロフィールシステム
- キャリアデザインファイルの統合

YNU学士力の可視化

【教学・学生IRシステム拡充】

- 学務情報システムデータを活用した学修成果の分析
- 成績分布表示システム
- 学生学修行動調査の分析
- 成績不良学生の早期抽出
- 留学生の在留管理
- 大学ポートレートデータを活用した他大学比較分析

YNU就業力の可視化

【キャリア教育の再体系化】

- キャリア科目の再体系化
- キャリア科目のビデオ教材化
- グローバルキャリアプログラム
- 産学連携型講座
- 就業力アセスメント（就業力自己チェックシートの開発）
- 検定外国語試験（英語・初修外国語）の単位化と複数回実施

授業設計方法と成績評価の改善

【厳格な成績評価と卒業認定システム】

- YNUイニシアティブ（3ポリシー）策定
- 授業設計と成績評価ガイドライン策定
- 授業別ルーブリック導入とシラバス改善
- 学部・大学院一体型の科目ナンバリング導入
- FD/SD活動の推進

- ・在学生・卒業生アンケート
- ・学生の授業アンケート
- ・大学ポートレート/大学改革支援・学位授与機構Web

- ・外部評価委員会の意見
- ・グローバル企業の人材ニーズの把握
- ・卒業生/企業人事担当者フォーカスインタビュー

「YNU教学マネジメントチーム」により大学教育改革を加速

副学長、5学部教務委員長、高大接続・全学教育推進センター長（兼基盤教育部門長）、学務部長

高大接続から学部教育、大学院教育、卒業後まで、 学生にフォーカスし一貫して見通すIRシステムの構築

質保証：学部教育の課題

- ✓ 入口の課題：主体的な学びの醸成
- ✓ 出口の課題：就業力（特に対人基礎力）

質保証：大学院教育の課題

- ✓ 継続課題：自己効力感のさらなる強化
- ✓ 専門家の課題：異分野交流、発信力

質保証：社会からの要請

- ✓ 就業力：主体的に考え動ける人材
- ✓ グローバル人材：主体的な状況適応力

学生IRにより

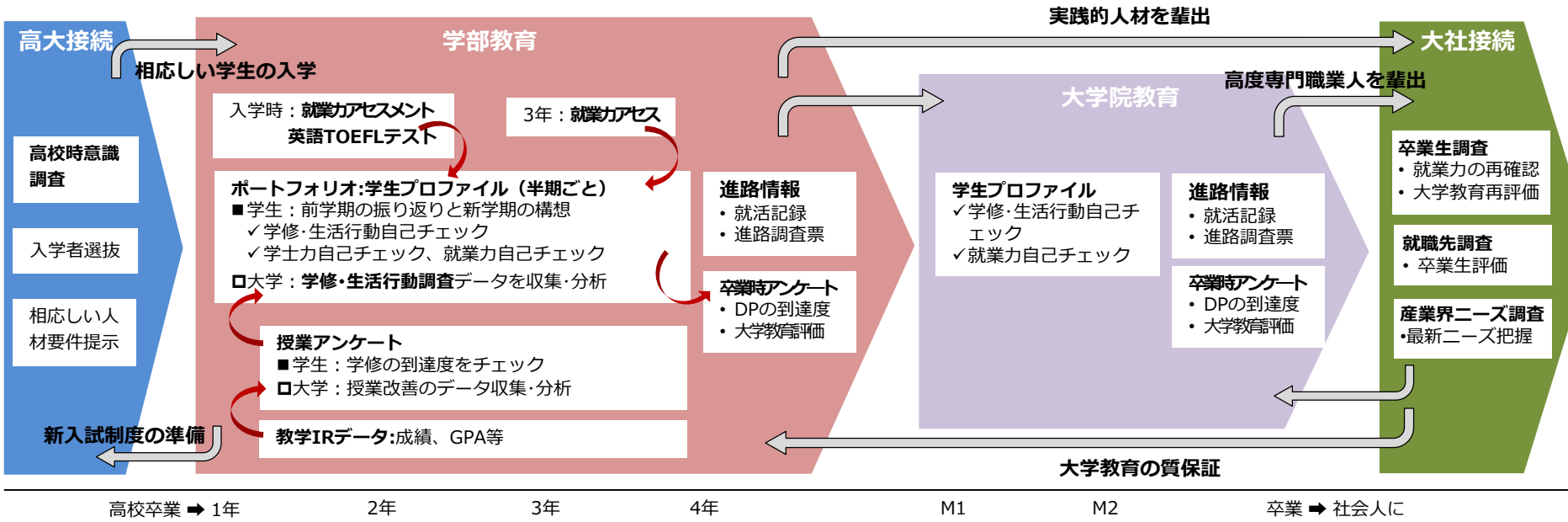
- ① 学士力・就業力を可視化
- ② 学修成果を検証
- ③ PDCAサイクルの構築

学修成果の評価指標

- ディプロマ・ポリシー
- 学士力：4つの実践的「知」
- 就業力：コンピテンシー

学修成果の収集手法

- 学修・生活行動自己チェック
- 学士力、就業力自己チェック
- 教学IRデータ
- 卒業時アンケート
- 卒業生、就職先等産業界の評価



eポートフォリオによる学修成果の可視化と学生IRの推進

— 「学生の主体的な学びのデザイン」の実現を目指して —

学務情報システム>ポートフォリオ>履修登録
→「学生プロフィール」に飛び、入力したのち履修登録へ：全数調査が可能

学生プロフィール

ポートフォリオのアンケート機能を活用し
学生情報を一元的に集約し管理する

- 4月履修登録時：
- 連絡先
 - 高校までの学修・生活行動チェックシート
 - 留学等授業外活動記録（上級生のみ）
 - 学士力自己チェックシート（上級生のみ）
- 10月履修登録時：
- 学修・生活行動チェックシート
 - 就業力自己チェックシート
- 卒業時（H31年度導入予定/導入検討）
- 卒業時アンケート
 - 進路調査票

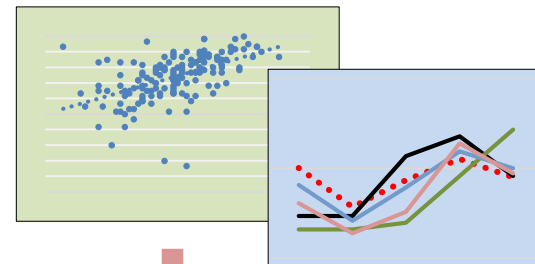
学生基本情報 (ポートフォリオ)

- ・連絡先
- ・保護者

学外活動記録 (帳票印刷)

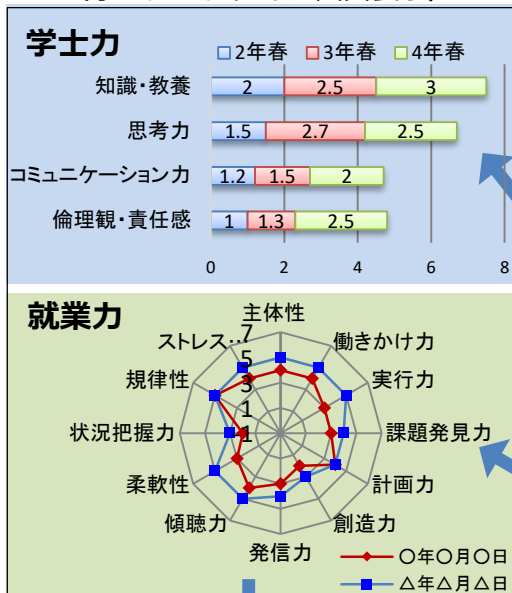
- ・留学
- ・インターンシップ

学生IR分析 (データをCSV出力)



学修成果の可視化

(学生プロフィール画面表示)



振り返りシート

(旧CDファイル/ポートフォリオを統合)

- ✓ 学業で頑張ったこと
- ✓ 学業以外で頑張ったこと
- ✓ 自分について考えたこと
- ✓ 将来について考えたこと

学生:就職活動に活用

進路調査票

(ポートフォリオ)

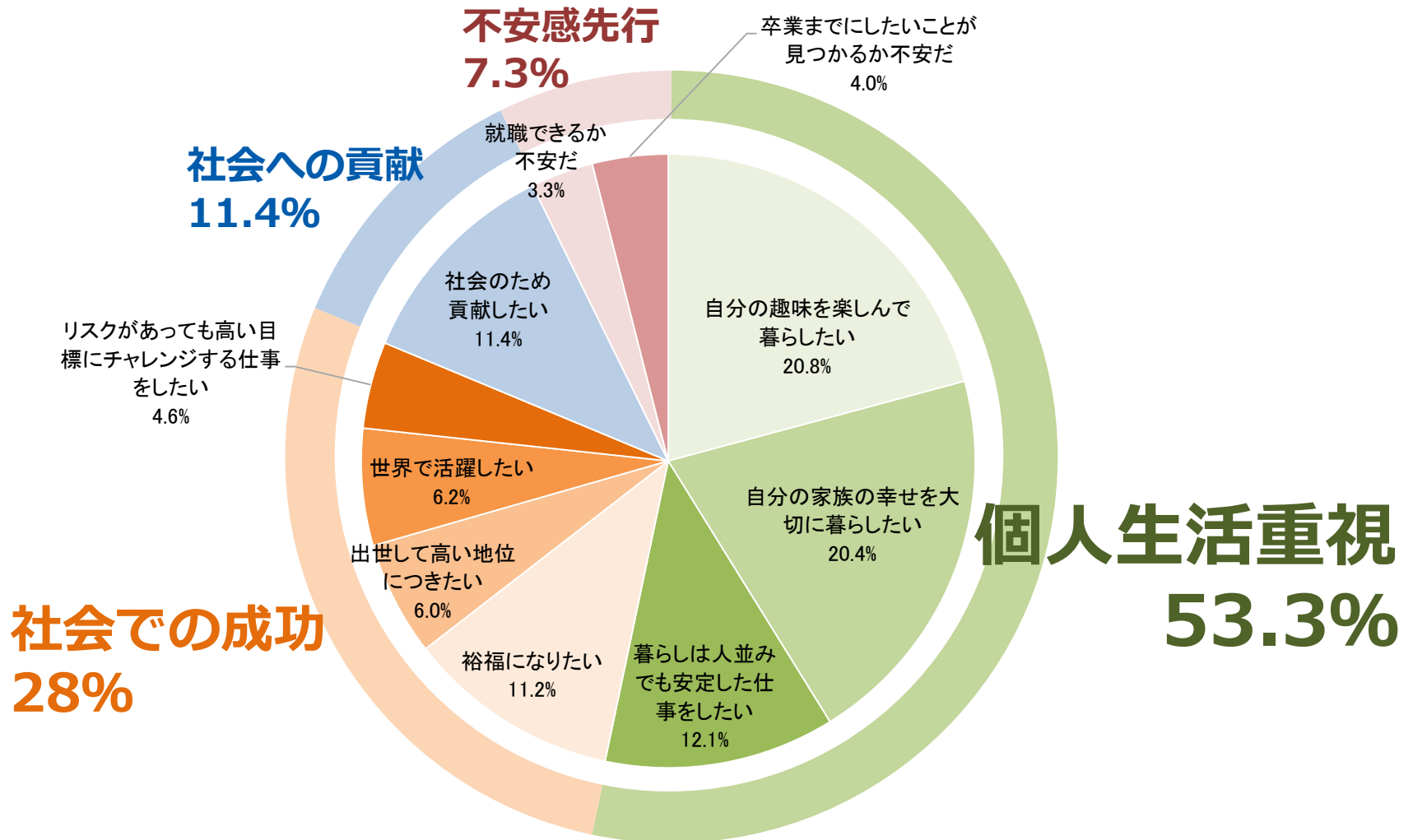
- ・就職先
- ・連絡先

卒業生:調査・交流活動等に活用

教職員:教育改善に活用

学生IR分析 1：卒業後の人生に関する意識が内向き（新入生）

大学卒業後の人生についてあなたの考えに近いものは



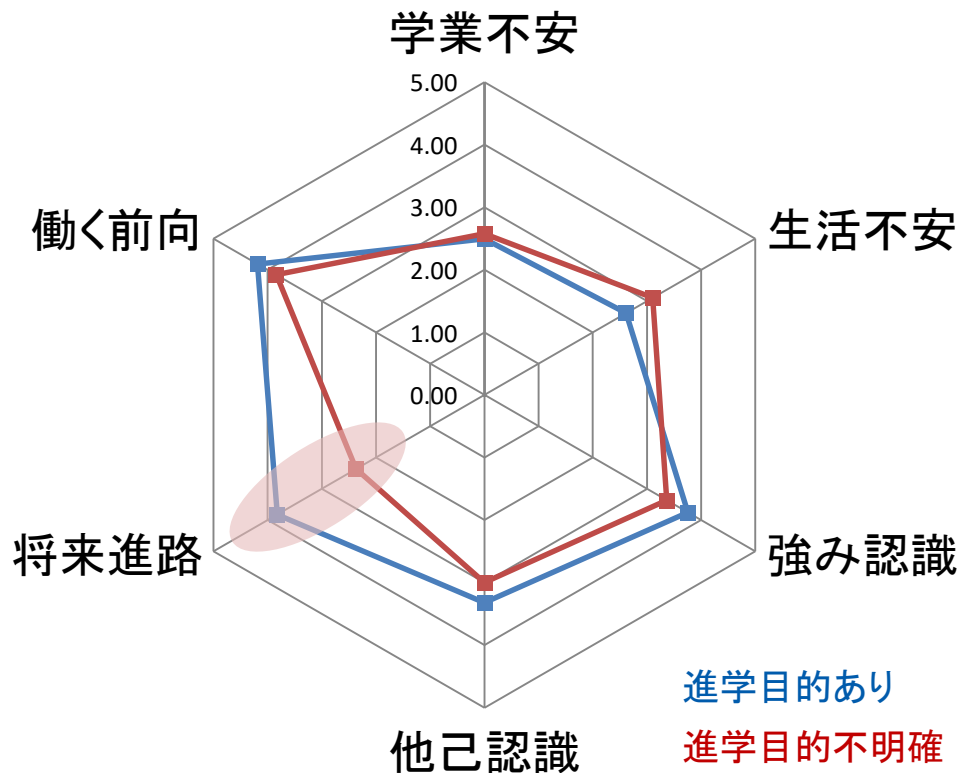
学生IR分析 2：主体的な学びの姿勢の醸成（新入生）

- 入学段階で学生の意欲が分かれている
- 進学目的が明確な学生は将来の進路も明確。学ぶ目的と将来をつなげて考えていると推測



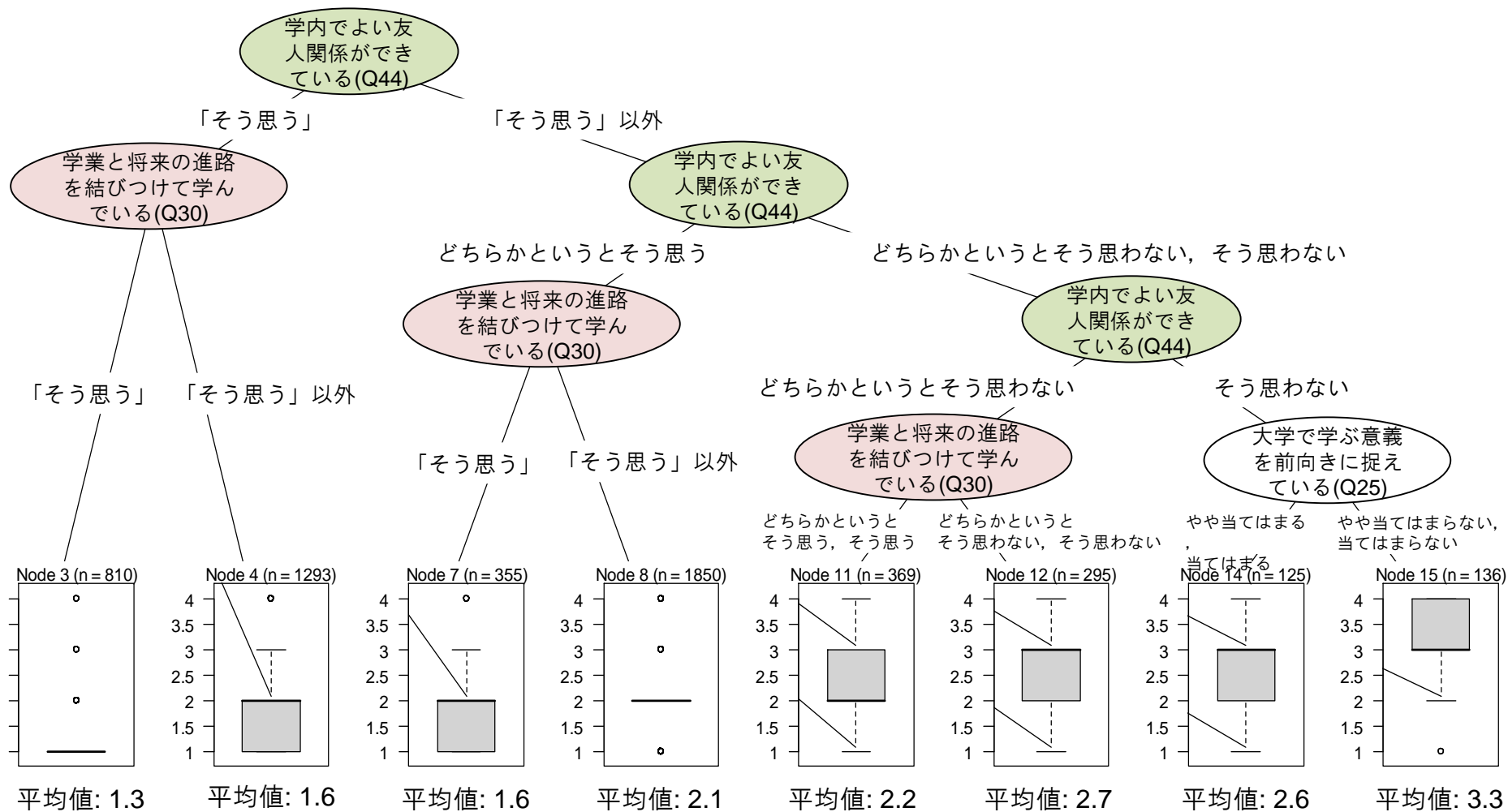
将来の進路と学業の係わりを認識させることで、主体的な学びを促す

入学段階の意識：進学目的との関係



学生IR分析 3：学生生活の充実度に影響する要因（上級生）

- 学内で良い友人関係を築いている学生ほど充実度が高い
- **学業と将来の進路を結びつけて学んでいると思う学生ほど充実度が高い**



注) 平均値の値が小さいほど、充実度は高い

産業界ニーズ1： 主体的に考え、行動できる人材の養成

- 主体性が原動力となりジェネリック・スキルを発動
- コミュニケーション能力により周囲に働きかけ
→ 学業を通じて「主体性」を如何に獲得させるか

主体性

(当事者意識をもち、
思考する姿勢)

ジェネリック・スキル群

論理的思考力

情報収集・分析力

課題解決力

交渉・調整・ディベート力

チームワーク、協調性

外国語能力

ビジネスマナー、常識

コミュニケーション能力

(周囲に
働きかける力)

H26:国内予備調査

- ・グローバル人材要件洗い出し
- ・駐在員の課題洗い出し

人材要件の仮説設定
調査項目確定

H27:南・東南ア

- ・人材要件の補強
- ・南・東南ア駐在員の課題抽出・特定

H28:欧州

- ・人材要件の補強
- ・欧州駐在員の課題抽出・特定

- 人材要件図修正
- グローバル人材養成科目開設

H29:中東・東ア

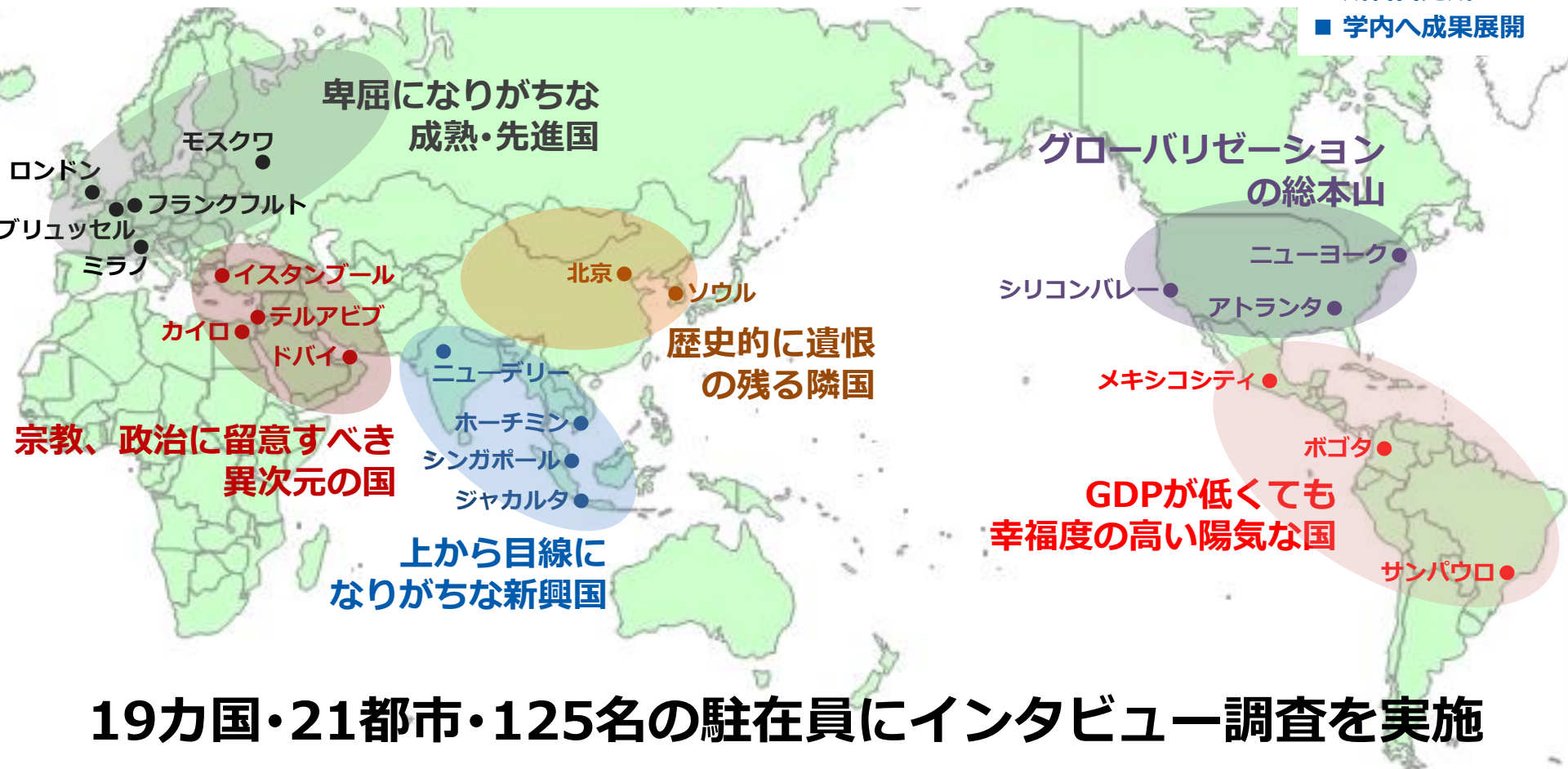
- ・人材要件の確認
- ・中東・東ア駐在員の課題抽出・特定

- 人材要件図確定
- グローバル人材養成科目改善

H30:米州

- ・女性、家族の適応など新たな課題抽出
- ・米州駐在員の課題抽出・特定

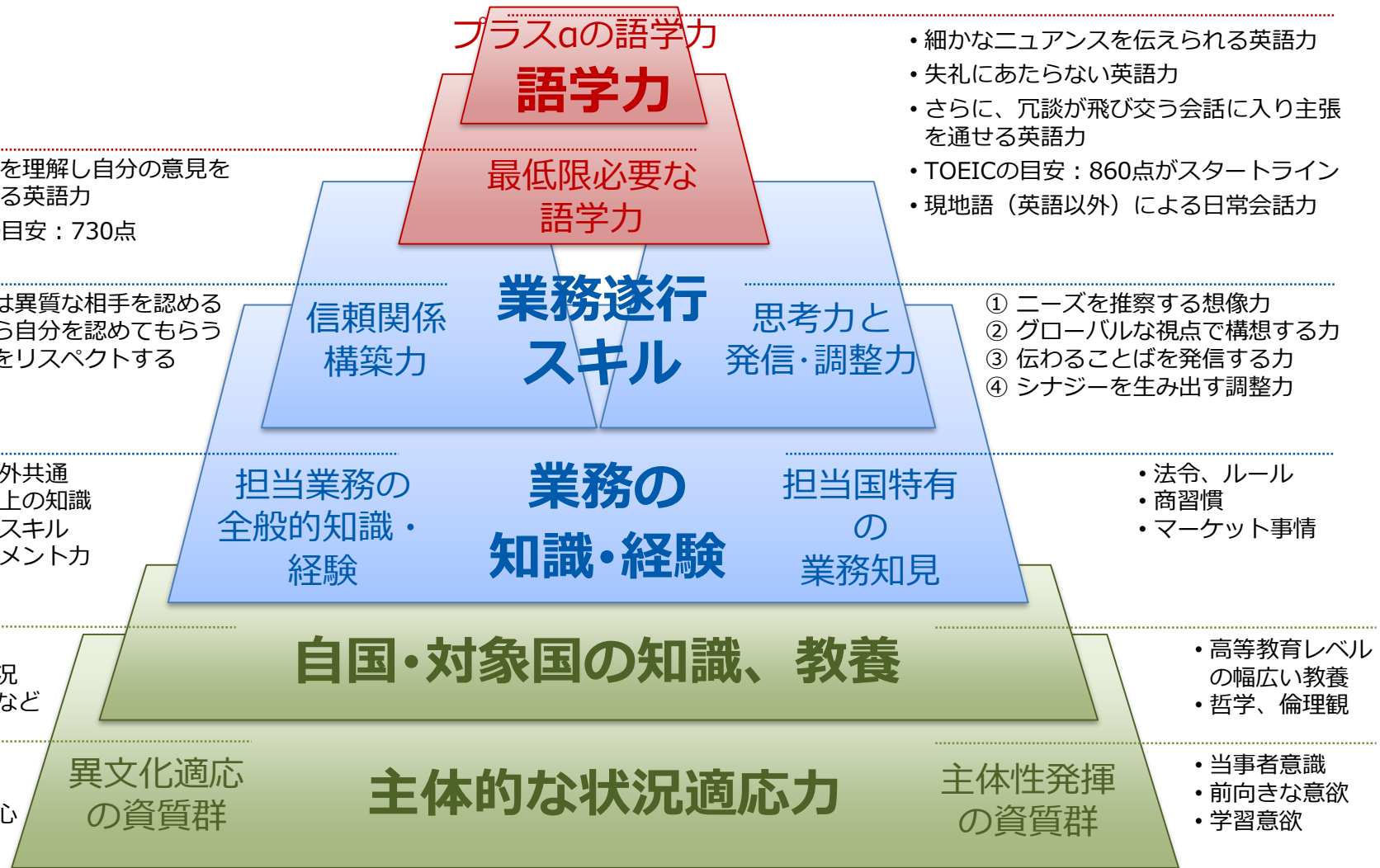
- 主要地域を網羅
- グローバル人材養成科目完成
- 学内へ成果展開



19カ国・21都市・125名の駐在員にインタビュー調査を実施

産業界ニーズ2 :

グローバル人材 = 資質と知識・教養 + 業務知識・経験と遂行スキル + 語学力



(『海外で活躍する「グローバル人材」に求められる要件の構造』市村光之, グローバル人材育成教育研究 第5巻第2号,2018)

産業界ニーズ3：グローバルに活躍できる人材の育成

日本人の強みを活かしつつ個性を発揮し、地球規模の発想から地域に貢献

大学教育への期待

- **専門分野**：専門分野を掘り下げることで得られる専門性とその分野に関する自負、およびそれにより培われる論理的思考力が重要
- **論理的思考力**：国内でも基本能力だが、異文化対応ゆえにより切実に求められている
- **幅広い教養**：教養と自己の相対化は、宗教から価値基準・行動規範を形成していく日本人にとって、社会人としての倫理観、哲学を醸成し国際社会で貢献するために、目立たないが意外にキーポイント
- **英語教育**：英語はあくまでもツール。そこを学生に理解させ、語学学習だけで満足させない配慮とアウトプットの訓練が必要
- **実践的教育**：大学は知識のインプットが多いが、どう実践するかが重要。論理的思考力と関連し、専門知識を活用して実践するカリキュラムを
- **異文化経験**：留学は有効だが、国内でもできる異文化体験があるはず

働く価値観の変質：令和の時代は？

物質的豊かさ

(テレビ・洗濯機・冷蔵庫、
マイカー、マイホームなど)

仕事
(報酬と地位)

年功序列・終身雇用
高度経済成長

昭和



平成

精神的豊かさ

(仕事の遣り甲斐、
家族との時間など)

**社会生活と
個人生活の調和**

IT化・グローバル化
低成長、終身雇用の崩壊

想定外が「想定内」の時代：自律的なキャリア形成が必要

- ✓ 会社任せ → 自分で決める/切り拓く
- ✓ 単線のレール → 複線・複々線、路線変更可
- ✓ 専門スキルの積み上げ → 変化に適応するスキルの強化

参考資料

- 横浜国立大学 大学教育再生加速プログラム（AP）事業全般：

高等教育政策の転換（高大接続システム改革）と大学教育再生加速プログラム事業

横浜国立大学 AP/FDニュースレター 8、市村光之・岸信次、2017

https://ynu.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id=9061&file_id=20&file_no=1

- 学生IR分析結果の紹介：

学修成果の可視化① 学生プロフィールによる学修成果の測定が始まる

横浜国立大学 AP/FDニュースレター 10、市村光之、2018

https://ynu.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id=9375&file_id=20&file_no=1

- 産業界ニーズ1：

就業力と大学教育

横浜国立大学 AP/FDニュースレター 1、市村光之、2015

https://ynu.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id=9056&file_id=20&file_no=1

- 産業界ニーズ2：

海外で活躍する「グローバル人材」に求められる要件の構造（海外駐在経験者へのインタビュー調査から）

グローバル人材育成教育研究 第5号2巻、市村光之、2018

https://ynu.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id=9055&file_id=20&file_no=1